

2003年12月10日(水曜日)

福井を元気にする 北陸新幹線

東京と大阪を結ぶ北陸新幹線。東京・長野間が既に開業し、現在、長野・富山間と石動(いするぎ)・金沢間の工事が進められています。

また、今後の新幹線整備の進め方(スキーム)について、今年中に見直しを行うために、政府・与党の間で検討が進められます。

今こそ、政府や与党の関係者に地元の熱意と要望をアピールし、「福井を元気にする北陸新幹線」の県内着工を実現するために、みんなの力を結集しよう！



～新幹線みんなの力で走らせよう～



地元の熱意を示すため、力強く「ガンバロー」と氣勢を上げる参加者＝11月18日、北陸線新幹線県内着工実現大会にて(東京)



山崎正昭官房副長官(右)に要望する女将さん＝11月20日、首相官邸で

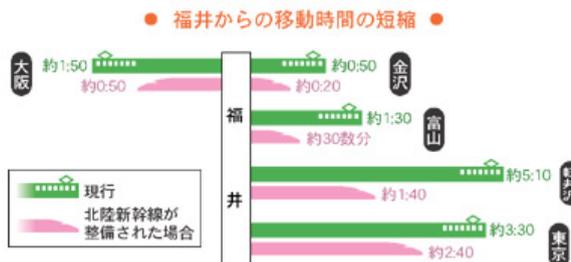


与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームの久間章生座長に、県内の早期着工を訴える西川知事＝11月18日、自由民主党本部にて

大幅な時間短縮

北陸新幹線が整備されると、より速く、より遠くへ行けるようになります。
 例えば、東京へは約2時間40分で行けることになり、現在の東海道新幹線を経由するルートに比べ約50分も短縮され、乗り継ぎも必要ありません。

また、大阪へは約1時間短縮され約50分で、金沢へは約20分、富山へも30数分で行けるようになります。



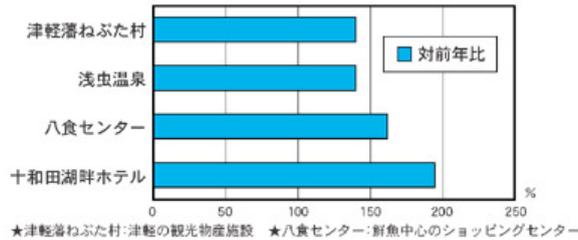
大きな経済効果

北陸新幹線が開業して移動時間が短縮されることにより、企業立地の促進や観光客の増加など、まちのにぎわいや地域の活性化が期待できます。

平成9年に新設された北陸新幹線佐久平駅周辺では、大規模小売店や企業など約100件が進出し、1,000人を超える雇用が生まれました。

また、平成14年12月に開業した東北新幹線(盛岡・八戸間)では、開業後5ヵ月間の利用者数が前年同時期と比べ55%も増加しています。観光施設や宿泊施設にも好影響を与えており、八戸の西約50kmにある十和田湖畔のホテルでは、宿泊者数が約2倍となりました。

● 青森県内の観光地における入り込み客数 ●



地元の実質的負担は約18%

● 建設費用の負担割合 ●

新幹線の建設費用は、国が3分の2、地元が3分の1を負担します。この地元負担の90%に地方債をあて、20~30年かけて返済します。なお、その返済額の半分について国の交付税措置があります。このため、地元の実質的な負担は建設費全体の約18%となります。



より便利になる在来線

これまでの特急を優先したダイヤ編成でしたが、ローカル列車のダイヤを自由に組むことができるようになるなど、生活者優先のダイヤ編成が可能となります。



北陸新幹線の県内着工を実現するためには、県民の皆さんの力が必要です。皆さんの力を結集し、一丸となって建設促進運動を展開するために、ご理解とご協力をお願いいたします。

この記事に関するお問い合わせは、県総合交通課新幹線対策室までどうぞ。 ☎0776(20)0292

[BACK](#)